

文責 道德教育推進教師

10月18日は、道德参観日でした。渡子小学校では、どのように道德の授業が行われているのかを地域の方や保護者の方に理解していただくよい機会となりました。児童の心にも参観者の心にも何かしら響くものがあったのではないかと思います。参観の後は、保護者対象の模擬授業『絵はがきと切手』もありました。有田先生と深見でTTの形式をとって行いました。参加して良かったというご意見をたくさんいただきました。ありがたいことです。



さて今日は、先日古谷先生が行われた授業で学んだことについてまとめたものを紹介します。今後の授業にお役立ていただければと思います。

校内研修での学び

【第4回校内研修】 指導講話：呉市教育委員会指導主事 神笠 雅司先生

★準備物について

- 今回点字を作ることについての理解は難しいと考え、児童に点字を作成する用具等を実際に見せることは主人公の気持ちを考える上で有効であった。

授業前に点字を書く体験をさせておくことで大変さが分かり、さらに意見に変化が表れたのではないかと。

★中心発問について

- 児童の書いたワークシートの内容を教師は把握しておき、それを価値レベルに分けておく。それを意図的指名の際活用する。
- 出された意見について、違っている点・共通点を児童に分かりやすいように板書に生かす。

★価値を高めることについて

- 低い価値をいかに高めていくか……。児童の意見について「なぜそんなことをしたのだろう。」と他の児童に考えさせる。

★伝え合い関わらせることについて

- 似ている意見の人を先に発表させる。(友達の意見を聞くようになる・考えもまとまる)

★一般化について

- 児童からの意見が出にくい場合は、教師が具体的な事実を紹介する。

①心のノートに日ごろから記入させておく

②児童の日記を活用する

等の引き出しを教師が持つておくことが大切。

「道德のあしあと」「心のコーナー」の掲示などの充実もお忘れなく!